

障害者自立支援機器

シーズ・ニーズマッチング 交流会2020

みんなで
考えよう!

入場無料
入退場自由

作る人と使う人の交流会



令和2年 12月1日(火)~4日(金) 10:00~17:00

テクノエイド協会 交流会専用サイト



令和3年 2月9日(火)・10日(水) 13:00~17:00
9:00~15:00

TOC有明4F コンベンションホール



Web開催イベント内容

Webによる開発企業及び支援機器の
紹介動画の発信、Zoomによる意見交換
の実施

- 特別講演
- 支援機器の開発及び利用報告
- 支援機器においてバイオデザインの手法を活用する
- ニーズの発信と支援機器活用の好事例と失敗談
- ATAサテライトによる成果報告
- 支援機器開発におけるモニター評価



東京開催イベント内容

支援機器の展示・相談、デモンストレーション、
意見交換の実施

- 開発支援機関の事業紹介
- 支援機器の開発及び利用報告
- 令和2年度 障害者自立支援機器等開発促進事業
成果報告
- ニーズを踏まえた支援機器開発 ※オンライン開催
- 特別イベント 他

対象者

ニーズ側 障害者、家族、在宅・施設等の介護職員、医療・福祉従事者 等

シーズ側 開発メーカー、産業振興団体、行政、新規参入を検討する企業・研究者、大学関係者、研究機関 等



公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は「令和2年度 シーズ・ニーズマッチング強化事業」の一環で行うものです。
詳しくはテクノエイド協会 交流会専用サイトまで



交流会専用
サイト

Web開催

令和2年 **12月1日(火)~4日(金)** 10:00~17:00

テクノエイド協会 交流会専用サイト

<http://www.techno-aids.or.jp/needsmatch/index.shtml>

東京開催

令和3年 **2月9日(火)** 13:00~17:00 / **10日(水)** 9:00~15:00

TOC有明4F コンベンションホール

東京会場ではマスクの着用と体温検査にご協力いただくとともに、三密を避けるため入場制限する場合がありますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

参加申込

Web会場、東京会場への来場にはそれぞれお申込みが必要です。

Web会場のお申込みはこちらから



東京会場のお申込みはこちらから



交流までの流れ

本誌P.4をご参照ください。

※オンラインによる交流は令和3年2月10日(水)まで可能です。

参加のお申し込みや交流の仕方に関するお問い合わせ先

シーズ・ニーズマッチング交流会2020事務局

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 宇田川・篠

受付時間：平日8時~12時、13時~16時

TEL: 03(3266)6883 メールアドレス: shogai-kiki2@techno-aids.or.jp

Webでの聴講はテクノエイドホームページより事前にお申し込みが必要です。
以下の時間に配信します。お好きな内容をご聴講ください。

交流会専用サイト



テクノエイドホームページ <http://www.techno-aids.or.jp>

Web開催プログラム(予定)

12月1日(火)～4日(金) 10:00～17:00 ※オンライン配信

1日目

12月1日(火曜日)

10:10

開会・挨拶

※動画等を活用した交流の進め方

テクノエイド協会 理事長

大橋 謙策

10:30

特別講演

障害者自立支援機器開発における現状と課題

11:30

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 部長
企画課 自立支援振興室 福祉工学専門官

赤澤 公省氏
田上 未来氏

11:40

支援機器の開発及び利用報告

11:40

① 歩行・起立着座・階段昇段をアシストする“着る”ロボットcurara®

12:10

AssistMotion株式会社

橋本 稔氏

13:00

② YourEyes

株式会社ポニーキャニオン

黒澤 格氏

13:30

13:40

〔導入編〕支援機器開発においてバイオデザインの手法を活用する

13:40

① 支援機器開発における行政の課題と解決策 ～ニーズの課題と重要性～

14:10

厚生労働省 福祉工学専門官

田上 未来氏

14:10

② 基調講演1 バイオデザインにおけるニーズ探索手法

15:10

株式会社ライフトゥデイ 代表取締役(医師)

原 陽介氏

15:20

ニーズの発信と支援機器活用の好事例と失敗談

15:20

① 日本視覚障害者団体連合

逢坂 忠氏

15:40

② 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

小川 光彦氏

15:50

16:10

16:20

支援機器開発におけるモニター評価

16:20

① 実証場面における被験者の保護

17:00

支援技術開発機構 理事長

山内 繁氏

2日目

12月2日(水曜日)

10:30

特別講演

生活を支える活動支援機器 特にロボットの開発

11:30

藤田医科大学 学長 才藤 栄一氏

11:40

支援機器の開発及び利用報告

11:40

① 運転補助装置を自ら設計開発 小島式アクセルアシスト装置

12:10

小島 一朗氏

13:00

② 「ただの棒ではありません! 自立支援用手すり『ラ・クリップ』」

13:30

株式会社東海技研工業 安江 宏氏

13:40

事務局だより

13:40

① Webを活用した意見交換の進め方

14:10

テクノエイド協会 五島 清国

15:20

ニーズの発信と支援機器活用の好事例と失敗談

15:20

① 全国脊髄損傷者連合会

安藤 信哉氏

15:40

15:50

② 日本ALS協会

岸川 忠彦氏

16:10

16:20

ATAサテライトによる成果報告

16:20

① こんな福祉機器の開発を! ATAサテライト(栃木県)報告

16:40

座長 とちぎノーマライゼーション研究会 伊藤 勝規氏



3日目

12月3日(木曜日)

10:30

特別講演

支援機器開発に求められるもの

11:30

静岡県立大学 教授

石川 准氏

11:40

支援機器の開発及び利用報告

11:40

① 携帯版、直感的なタッチで会話を楽しむ

12:10

株式会社日立ケーイーシステムズ

松浦 美紀彦氏

13:00

② タブレット版「運転基礎能力トレーニング」が目指すもの

13:30

株式会社PRIDIST

三田村 もな美氏

13:40

事務局だより

13:40

① 自立を支援する自助具

14:10

テクノエイド協会

宇田川 竜吾

15:20

ニーズの発信と支援機器活用の好事例と失敗談

15:20

① ポリオの会

小山 万里子氏

15:40

丸橋 達也氏

15:50

② 日本失語症協議会

園田 尚美氏

16:10

16:20

ATAサテライトによる成果報告

16:20

① こんな福祉機器の開発を！ ATAサテライト(秋田県)報告

16:40

座長 秋田未来株式会社

六平 澄人氏



4日目

12月4日(金曜日)

10:30

特別講演

ニーズを踏まえた支援機器開発

11:30

株式会社松永製作所 代表取締役社長 松永 紀之氏

11:40

支援機器の開発及び利用報告

11:40

① チャレンジ! 両手・片手両用車いすの実現を目指して

12:10

合同会社ライフスペース研究所 齊藤 徹氏

13:00

② 生活機能の獲得を支援するクラウド・サービス:ライフスキル

13:30

レデックス株式会社 五藤 博義氏

13:40

事務局だより

13:40

① これまでに寄せられたニーズ

14:10

テクノエイド協会 篠 明子

15:20

ニーズの発信と支援機器活用の好事例と失敗談

15:20

① 全国盲ろう者協会

15:40

橋間 信市氏

15:50

② ASD(自閉スペクトラム症)生活環境研究会

16:10

増澤 高志氏

16:20

③ 在宅生活を支援する福祉機器

16:40

身体障害者支援施設れいんぼう川崎 小磯 さおり氏

17:00

閉会・挨拶 (東京開催に向けて)



三密を避けるため、テクノエイド協会ホームページより事前の参加お申し込みにご協力ください。

新型コロナウイルス感染症の今後の動向により、イベント開催の自粛が予測される場合には、無来場者開催(Web)に切り替える可能性があります。

東京会場プログラム(予定)

2月9日(火) 13:00~17:00、2月10日(水) 9:00~15:00

1日目

2月9日(火曜日) 13:00~17:00

WEST 会場

13:30

事業紹介 [各10分]

13:30

① NEDO福祉事業のご紹介 ~福祉用具実用化開発の支援~

NEDO イノベーション推進部 主査 只野 肇氏

13:45

② 情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金制度のご案内

NICT 情報バリアフリー推進室 室長 伊藤 弘道氏

14:00

③ JSTの産学連携事業と福祉機器開発事例

JST 起業支援室 下田 修氏

15:00

支援機器の開発及び利用報告 [各30分]

15:00

① 社会的自立のための文字と音声による円滑なコミュニケーション支援

株式会社フィート 有光 哲彦氏

15:35

② 画像聴覚化装置を用いる視覚障害者の絵画鑑賞について ー共感する美術館の提案ー

株式会社画像聴覚化研究所 黒田 昌弘氏

2日目

2月10日(水曜日) 9:00~15:00

WEST 会場

10:00

特別イベント [各60分]

10:00

① [実用編] 基調講演2 ※オンラインによる配信

バイオデザインを応用した効果的な支援機器のニーズ探索・開発プロセス

株式会社ライフトゥデイ 代表取締役(医師) 原 陽介氏

ニーズ探索手法における医療機器開発との相違点や支援機器開発に用いる際の特徴点・注意点など、令和元年度推進事業成果(フローチャート)を用いて、支援機器開発に新規参入する企業とその人材が、開発着手する際に効率よく事業を進めるための方策について解説いただく。

13:30

② 福祉工学カフェ(2020年度第3回目) ※オンライン併用

「誰もが安全に生活できる“新しい生活様式”のあり方」

NEDOイノベーション推進部 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

2020年度は視覚に障害がある方を主な対象として、第1回目に行ったニーズ視点と第2回目に行ったシーズ視点での議論を振り返り、双方の一致点と乖離点を整理することで今後の支援機器開発へ活かしていただく。

15:00

閉会

交流会専用サイト

テクノエイドホームページ <http://www.techno-aids.or.jp>



1 日目

2月9日(火曜日) 13:00~17:00

EAST 会場

厚生労働省

令和2年度 障害者自立支援機器等開発促進事業

成果報告会 [各15分]

13:30

13:30

- ① 障害児の日常生活において両手協調動作を促す訓練用の筋電義手と
自助具 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団

13:50

- ② 障害者の能動的な運動・活動を促すコンピューターグラフィックを利用
したレクリエーションエクササイズの開発 学校法人藤田医科大学

14:10

- ③ 視覚障害者のIoT化と情報共有クラウドによる移動支援システムの開発
株式会社コンピュータサイエンス研究所

14:30

- ④ 高精細音響技術を活用した携帯型対話支援システムの開発
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

14:50

- ⑤ 網膜投影型視覚支援機器の開発 株式会社QDレーザ

15:10

- ⑥ 在宅向け排泄支援装置 シエルエレクトロニクス株式会社

15:30

- ⑦ 成長対応ができる拡張性、認証を取得した安全性、公費で補完できる
価格帯の障がい児向けチャイルドシートの開発
ミクニライフ&オート株式会社

15:50

- ⑧ 下肢切断者のモビリティを向上させるパワード義足膝継手の開発
BionicM株式会社

16:10

- ⑨ 盲ろう者支援ウェアラブル意思疎通機器 一般社団法人ハートウェアラボ

2 日目

2月10日(水曜日) 9:00~15:00

EAST 会場

特別イベント

10:00

3Dプリンターを使用した自助具製作で大切なこと

10:00

- ① 「3Dプリンティング技術を活用した協同型支援機器提供システムの取組み」
日本福祉大学 教授 渡辺 崇史氏

10:40

10:40

「多様な個別性に対応した自助具製作について」仮称

11:20

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発室長 硯川 潤氏

13:30

14:30

- ② 交通制約者に優しい自動運転バスに係る基礎調査
障害者等に配慮した自動運転バスの提案

NEDO ロボット・AI部 プロジェクトマネージャー 林 成和氏
株式会社 NTT データ経営研究所 マネージャー 足立 圭司氏

15:00

閉会

D.

聴覚障害

AI-mimi

聴覚障害者向けハイブリッドライブ字幕「Ai-mimi」。



株式会社アイセック・ジャパン

沖縄県うるま市字川崎468番地いちゅい貝志川 じんぶん館1F

希望する交流の内容

聴覚障がい者だけではなく、高齢により字幕が必要となっている方やシニア向けのプログラムを運営している施設の方などへサービス内容をお知らせしたい。

Web交流の連絡先

担当部署:マーケティング・新規事業開発部
担当者氏名:謝名・辻本
TEL:098-972-6888 FAX:098-987-5627
E-Mail:iscec-j@iscecj.co.jp

「こえとら」

NICTの高精度な音声認識技術により聴覚障害者と健聴者との会話を支援するスマートフォン向け無料アプリ。



株式会社フィート

東京都新宿区大久保1-1-7 4F

希望する交流の内容

「こえとら」の周知拡大の協力と、ご利用対象者の生活の質を高めるための意見収集を目的とした交流を希望します。また、聾学校や特別支援学校ほか教育機関、ご卒業生の就労先、自治体福祉支援、聴覚障害者支援センター、及び、リハビリテーションセンター等の関係機関において、効果的な利用方法などについて研修会実施(現地/オンライン)も可能です。

Web交流の連絡先

担当部署:総務グループ
担当者氏名:鈴木 麻友美
TEL:03-5287-7391 FAX:03-3204-5984
E-Mail:exhibit-staff@feat-ltd.jp



参加無料

申込受付締め切り2020年11月27日(金)

令和2年度 シーズ・ニーズマッチング強化事業
シーズ・ニーズマッチング交流会2020 併催イベント

Zoomオンラインセミナー

バイオデザインから ニーズの探索・深掘りの重要性を理解する

※中小企業から新たに新規事業として立ち上げる事業の担当者、起業を考えている支援機器開発実績のある人材、大学・研究所・高専からスタートアップ・ベンチャーを目指す人材・企業

対象：支援機器開発に興味のある方

【導入編】

2020年12月1日(火)

13:40～15:10

第1部 (13:40～14:10)

「支援機器開発における行政の課題と
解決策～ニーズの課題と重要性～」

講師 田上 未来

厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 企画課
自立支援振興室
福祉工学専門官



第2部 (14:10～15:10)

基調講演 1.

「バイオデザインにおける
ニーズ探索手法」

講師 原 陽介

株式会社 ライフトゥデイ
代表取締役
ジャパンバイオデザイン
アシスタントファカルティ
東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
医師 医学博士



【実用編】

2021年2月10日(水)

10:00～11:00

基調講演 2.

「バイオデザインを応用した効果的な
支援機器のニーズ探索・開発プロセス」

講師 原 陽介

株式会社 ライフトゥデイ
代表取締役

ジャパンバイオデザイン
アシスタントファカルティ
東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
医師 医学博士



※こちらのセミナーは12月1日のセミナーの
継続セミナーです。

お問い合わせ

公益財団法人テクノエイド協会 企画部

TEL: 03-3266-6883

メールアドレス shogai-kiki2@techno-aids.or.jp

HP: <http://www.techno-aids.or.jp/>

お申込みはこちら

